

旧日本史 A

(解答番号 ~)

第1問 次の文章A・Bは、国会議事堂の歴史について調べている、高校生のリョウさんとマユさんとの会話である。この文章を読み、後の問い(問1～7)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。)(配点 22)

A

リョウ：帝国議会は木造の仮議事堂で始まったんだって。㉔明治十四年の政変で10年後の議会開設が決まったけど、本格的な議事堂を建てる時間がなかったんだ。㉕各国の議事堂を視察した金子堅太郎は、本格的な議事堂をどう建築すればいいか講演しているよ。

マユ：そうなんだ。議員たちも、最初は議場でのふるまい方が分からず、投票方法も知らなかったみたい。㉖第1回帝国議会では、議長選出に10時間以上もかかったって。

リョウ：この仮議事堂もすぐに火事で焼けたんだよね。数か月で再建されたけど、今度は、㉗日清戦争で一時的に広島に移されたんだよ。

問1 下線部㉔に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

X この政変によって板垣退助が参議を罷免された。

Y この政変と同じ年に、国会期成同盟を中心として、自由党が結成された。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

- 問 2 下線部①に関連する次の史料 1・2 から読み取れる内容と金子堅太郎に関して述べた後の文 a～d について、正しいものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

2

史料 1

日本で本議事堂を建築するに就いては、如何なる国の議院を模範として取るが宜しいというものは無いです。然らば日本は日本で一種特別の建築法で(中略)建築をしてみたいと思いますが、其の装飾はどうぞ英国の精神を模倣して一室一房 悉く日本の歴史をば装飾に適用したい。(中略)東洋の一小国に於て憲法政治を施行した其の建物は是れなりということを世界に示して、日本の国威をして議事堂の内外より発揮させたい。

(金子堅太郎「議院建築意見」『国家学会雑誌』1891 年)

史料 2

(英国議院の装飾は)貴族院議員が、貴族院に列して国事を論議するに当たり、仰ぎては歴代の帝王を見、俯いては祖先の功績を思い、日夜国家の為に、誠忠を致すの念慮を發起せしめ(中略)皆上下両院の議員をして、国家に忠愛ならしむるの精神に出でざるはなし。

(金子堅太郎『議院建築意見』1891 年)

- a 史料 1 からは、金子堅太郎は、イギリスと同じ建築方法と装飾を用いた議事堂を建築して、日本の国威を発揚しようと考えていたことが分かる。
- b 史料 2 からは、金子堅太郎は、イギリスの議院の装飾が議員の国家への忠愛を喚起していると捉えていたことが分かる。
- c 金子堅太郎は、ロエスレルの助言を受けつつ憲法草案の編纂に携わった。
- d 金子堅太郎は、コンドルに師事し、東京駅などの建築物を設計した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

旧日本史 A

問 3 下線部㉔に関連して、次の表は、第 1 ～ 3 回の総選挙で当選した衆議院議員の職業別の人数を示したものである。表から読み取れる内容とその解釈に関して述べた後の文章 X ・ Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

3

表 衆議院議員の職業別人数

(単位：人)

職 業	第 1 回(1890 年)	第 2 回(1892 年)	第 3 回(1894 年)
地主及び農業	144	175	183
官吏	60	18	1
法律家	24	21	30
ジャーナリスト	20	15	16
その他	52	71	70
計	300	300	300

(歴史学研究会編『日本史史料 4 近代』により作成)

X 第 1 ～ 3 回の総選挙で当選した衆議院議員は、「地主及び農業」を職業とする者が最も多い。このことは、この時期の衆議院の多数派が地租の軽減を主張した理由の一つだと考えられる。

Y 第 1 回から第 3 回の総選挙にかけ、「官吏」を職業とする衆議院議員は激減している。その原因として、吏党が政府の選挙干渉を受けたことが考えられる。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 4 下線部①について述べた文として誤っているものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

4

- ① 日清戦争が始まると，政党は政府に批判的な態度を改めて，政府に協力する姿勢をみせた。
- ② 日清戦争は，朝鮮半島でも戦闘が行われたため，朝鮮民衆の生活にも大きな影響を与えた。
- ③ 日清戦争の講和後に行われた三国干渉によって，日本国民の間ではロシアに対する反発が強まった。
- ④ 日清戦争後，アメリカは，租借地を拠点として鉄道建設を進めるなど，中国で勢力範囲の設定を行った。

旧日本史 A

B

マ ユ：大正時代に入ると、「ア」をスローガンとする第一次護憲運動によって、議事堂はしばしば人々に取り囲まれるんだ。第二次護憲運動でイ内閣が批判された際も、小規模ながら議会周辺に民衆が集まったよ。

リョウ：今の議事堂は、1936 年になってようやく完成するんだけど、その直前には、㉔二・二六事件を起こした青年将校らによって完成間近の議事堂は占拠されてしまったんだよ。

マ ユ：敗戦後も何かあったのかな。

リョウ：よく知られるのは、1960 年 1 月に調印された、㉕新安保条約の批准に反対する人たちが議事堂周辺を埋めつくしたデモだね。今でも、議事堂の周辺は、様々な人々が政治的主張をするために集う場所になっているよ。

問 5 空欄 ア イ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- ① ア 閥族打破 イ 桂太郎
- ② ア 閥族打破 イ 清浦奎吾
- ③ ア 民力休養 イ 桂太郎
- ④ ア 民力休養 イ 清浦奎吾

問 6 下線部㉔に関連して、昭和戦前期の軍部の台頭に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 6

- Ⅰ 軍部の要求により、軍部大臣現役武官制が復活した。
- Ⅱ 補助艦の保有量を制限する条約を政府が締結したことに対して、軍部は統帥権の干犯であると攻撃した。
- Ⅲ 関東軍は奉天郊外で線路を爆破し、これを中国軍のしわざであるとして軍事行動を起こした。

- ① I — II — III ② I — III — II ③ II — I — III
 ④ II — III — I ⑤ III — I — II ⑥ III — II — I

問 7 下線部㊦に関連して、次の史料3・4は、それぞれ新安保条約に反対する学生や団体が作成したものである。史料3・4に関して述べた後の文a～dについて、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 7

史料3

私達の問題意識の出発は、当時、(革新勢力の)「進歩的知識人」が主張していた「日本の自主性向上の面もあるのだから、安保改定に全面的に反対するのは子供じみている。」という「大人」の条件闘争への進言よりも、ずっとずっと健康だった。
 (『人しれず微笑まん』)

史料4

省 略

(「安保改定阻止国民会議結成の呼びかけ」)

- a 史料3は、新安保条約の内容に全面的に反対する著者と、新安保条約の内容に部分的に賛成する「進歩的知識人」との意見の相違を示している。
 b 史料3は、新安保条約の内容に全面的に反対する著者と、新安保条約の内容に全面的に賛成する「進歩的知識人」との意見の相違を示している。
 c 史料4からは、この著者は、新安保条約によって日本が中国やソ連を攻撃する基地となることに強い危機感を持っていたことが分かる。
 d 史料4からは、この著者は、新安保条約によって自衛隊の強化が阻害されることに危機感を持っていたことが分かる。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

旧日本史 A

第 2 問 ハルカさんは、明治新政府の改革に関する授業を受けて、現在の都道府県につながる廃藩置県に興味を持ち、調べることにした。次のメモは、ハルカさんが学んだこと、疑問に思ったこと、それらを考察する方法をまとめたものである。このメモを読み、後の問い(問 1 ～ 4)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。)(配点 12)

メモ

学んだこと：明治新政府は、まず①4藩の藩主に版籍奉還を願い出させた後、全藩主にも命じた。その2年後には廃藩置県を断行し、翌年、琉球には琉球藩を置き、国王を藩王に任じた。②廃藩置県から8年後に沖縄県の設置を強行した。

疑問 1：新政府はどのような国家体制をつくろうとしたのだろう。

考察する方法：新政府に関わった人物の考え方を調べる。

疑問 2：琉球藩は、新政府の政策にどのように対応したのだろう。

考察する方法：新政府と琉球藩とのやりとりを調べる。

問 1 下線部②に含まれる藩や、そのいずれかに属した人物について説明した次の文 X・Y と、それに該当する後の語句 a ～ d との組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

8

X 朝廷を動かして幕府に攘夷の決行を迫り、幕府の命令に応じて外国船を砲撃した。

Y 將軍徳川慶喜に前藩主を通して政権の返還を勧め、明治新政府の成立後は自由民権運動に深く関わった。

a 薩摩藩 b 長州藩 c 後藤象二郎 d 副島種臣

① X — a Y — c ② X — a Y — d

③ X — b Y — c ④ X — b Y — d

問 2 下線部①に関して、廃藩置県から沖縄県が置かれるまでの期間に起こった出来事に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 9

Ⅰ 参議の一部は、朝鮮に西郷隆盛を使節として派遣すべきと主張したが、退けられたため辞職した。

Ⅱ 熊本・福岡・山口の各県で相次いで不平士族の反乱が起きた。

Ⅲ 政府は士族層の不満を抑える目的もあって、台湾での琉球漂流民殺害事件を口実に、台湾に出兵した。

① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ

② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ

③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ

④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ

⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ

⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 3 疑問 1 について考察するため、ハルカさんは、明治新政府の首脳の一人であった木戸孝允の手紙を読んだ。次の史料 1 は版籍奉還以前に木戸が書いた手紙、後の図 1・2 はその手紙の中で木戸が描いたイラストである。史料 1 と木戸孝允に関して述べた後の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 10

史料 1

今日まで皇国(注1)の形勢右の如く(図1)にて、各々自分の山を高くいたしたくとの了簡(注2)にて、皇国一致と申すところ元より覚束なく、したがって気脈(注3)等も各々と相なり、天下の^{いぢりき}一力をもつて外に当り候ところ始終むずかしく、よつて、皇国かくの如くの^{てい}体(図2)と相なり、朝廷の御基本に基づき奉り、各々順々に肩をなし、一体一力をもつて共に皇国を維持つかまつり候ときは、五州強大(注4)何ぞ終に^{つひ}恐るるに足んと存じ候一念に御座候。

旧日本史 A

図 1

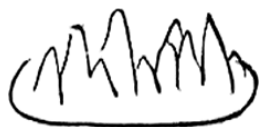
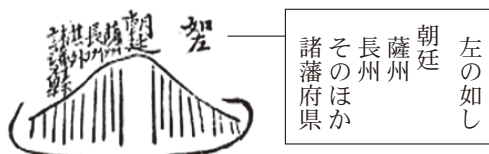


図 2



(『木戸孝允文書』)

(注 1) 皇国：日本のこと。

(注 2) 了簡：考え。

(注 3) 気脈：意思疎通。

(注 4) 五州強大：世界の強国のこと。

X 木戸は、図 1 のように自藩のみを高めることを考えていては力を合わせることはできないが、図 2 のように朝廷中心に一体となれば、世界の強国を恐れる必要はないと考えていた。

Y 木戸が参加した大阪会議の結果、漸次立憲政体樹立の詔が出されるとともに、元老院・大審院などが設置された。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 4 疑問 2 について考察するため、ハルカさんは、明治新政府と琉球藩とのやりとりに関わる次の二つの史料を読んだ。史料 2 は 1875 年に新政府が琉球藩に出した通達、史料 3 はそれに対して同年に琉球藩が新政府に出した願書である。史料 2・3 に関して述べた後の文 a ～ d について、正しいものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

11

史料 2

その藩の儀、従来隔年朝貢と唱え清国へ使節を派遣し、或は清帝即位^{あるい}の節、慶賀使^(注1)差し遣わし候例規これある趣に候えども、今より差し止められ候事。藩王代替わりの節、従前清国より冊封受け来り候趣に候えども、今より差し止められ候事。
(『大日本外交文書』)

(注1) 慶賀使：ここでは清皇帝の即位を祝うために琉球国王が送った使節のこと。

史料 3

琉球と支那^(注2)との続^{つづき}五百年來恩義これあり(中略)且つ往古より兩属の儀は各国明知するところにて(中略)仰ぎ願わくば弊藩支那との続も信義取り失わざる様、恐れながら寛洪^{かんこう}^(注3)の御処置くだされ候わば、天皇陛下御大徳ますます相^{あらわ}顯^{うだい}れ、宇内の輿論^{よろん}^(注4)に係わり候ても御不条理の御儀には相唱え申すまじく(後略)
(『明治文化資料叢書』)

(注2) 支那：当時用いられた中国の呼称。

(注3) 寛洪：おおらかなこと。

(注4) 宇内の輿論：諸国の世論のこと。

- a 史料2から、江戸幕府は、琉球による清への朝貢使節や慶賀使の派遣を禁じていたことが分かる。
- b 史料2から、明治新政府は琉球藩に、藩王の代替わりの際に清から冊封を受けるのを止めるように通達していることが分かる。
- c 史料3では、琉球藩は明治新政府に、清からの長年の恩義に報いて藩王の大徳を示すため、清への朝貢を続けさせてほしいと訴えている。
- d 史料3では、琉球藩は明治新政府に、琉球が日本と清に両属してきた歴史を各国も承知しており、清への朝貢を続けさせてほしいと訴えている。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

旧日本史 A

第3問 次の文章 A・B は、高校生のヤスさんとコウさんが授業の中で「近代日本の民衆生活とお金」をテーマに発表することになり、相談した際の会話である。この文章を読み、後の問い(問1～7)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。)(配点 22)

A

- ヤ ス：明治になると、一部の地域で、都市化が進んだんだって。幕末以降、
①産業発展や外国貿易の開始などによって人口が増えた地域も多いんだよね。
- コ ウ：その一方で特に都市内部や、都市で生活する人々と農村で生活する人々の間で貧富の差が拡大したっていうことも聞いたよ。
- ヤ ス：②松方正義による財政政策の影響によって、生活に困窮した農村の人々が都市に流入するようになったんだよね。
- コ ウ：そもそも **ア** によって、主要な税が金納になったんだよね。そうすると、まずは税を払うためにお金が必要になったということになるね。
- ヤ ス：6歳以上の男女すべてに小学校教育を受けさせることを義務づけた **イ** の制定によって、小学校を建設する費用も負担を求められたんだよね。当時の人は、手元にお金がなかった場合どうしてたんだろう。
- コ ウ：お金を借りるしかないよね。そういえば近代以前から質屋ってあったよね。
- ヤ ス：質屋って、物品を質物^{しちもつ}として預かって(質入^{しちいれ})、お金を貸す金融業者だよ。③貧困問題の拡大を明らかにしたある書籍では、質屋について、「国家に銀行あり、民に質屋あり」と解説しているみたい。
- コ ウ：へえ、④昭和初期には、全国に1万8千店近く質屋があったんだって。近代に質屋が果たした役割を調べてみよう。

問 1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **12**

- | | |
|------------|-------|
| ① ア 新貨条例 | イ 教育令 |
| ② ア 新貨条例 | イ 学 制 |
| ③ ア 地租改正条例 | イ 教育令 |
| ④ ア 地租改正条例 | イ 学 制 |

問 2 下線部㉔に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **13**

- ① 三池は、明治期に開発が進み、石炭産業の中心地となった。
- ② 東京の銀座通りには、明治期にレンガ造りの建物やガス灯が並んだ。
- ③ 北海道には、幕末に開拓使がおかれ、大農場が設けられた。
- ④ 八幡には、日清戦争後に官営の製鉄所が建設された。

問 3 下線部㉕に関連して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 **14**

- Ⅰ 埼玉県秩父地方では、困窮した農民らが負債の返済延期を求め、武装蜂起した。
- Ⅱ 地租の軽減，言論の自由，条約改正を要求する三大事件建白運動が高揚した。
- Ⅲ 中央銀行である日本銀行が設立された。

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ | ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ | ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ |
| ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ | ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ | ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ |

旧日本史 A

問 4 下線部㉔に関して、明治時代の貧困問題や労働事情を扱った刊行物について述べた次の文 X・Y と、それに該当する後の語句 a～d との組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 15

X 農商務省が、工場や炭鉱における労働の実態を調査した結果を発表した。

Y 横山源之助が、都市や農村における貧民の生活実態を明らかにした。

a 『職工事情』

b 『国民之友』

c 『日本之下層社会』

d 『太陽のない街』

① X — a Y — c

② X — a Y — d

③ X — b Y — c

④ X — b Y — d

問 5 下線部㉕に関連して、コウさんが探してきた次の史料に関して述べた後の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 16

史料

簡易迅速に生活資金を融通する機関として、質屋業は代表的なものということが出来る。貯蓄銀行はもっぱら資本家の資金調達機関として活動し、金貸業は営利に汲々として高利を貪り、庶民にとって頼りになる金融機関ということとは出来ないからである。「手より口へ」の生活を営みつつある庶民が、鍋釜や絆纏を質入することに対して、質屋は極めて迅速かつ手軽に生活資金を融通するのである。近來不況の永続深刻化とともに質物の出入は著しく減少し、物価の低落は入質物件の値下りを招来し、質屋を甚だしき苦境に陥れた。

(『無産者金融機関としての質屋の研究』大意)

X 庶民にとって、質屋よりも貯蓄銀行の方が生活資金を調達しやすかった。

Y 昭和恐慌期には、質屋の経営状況は苦しかったと推測される。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

B

ヤ ス：質屋では、どのような条件でお金を貸していたのかな。

コ ウ：質屋では次のような貸出条件を、見やすい場所に掲示しなければならなかったようだ。

貸金二十五銭以下は一ヶ月金一銭，金一円以下は一ヶ月百分の四，金五円以下は一ヶ月百分の三，金十円以下は一ヶ月百分の二半

(「質契約証」)

ヤ ス：質入をした人(質置主)が 10 円を借りた場合は、「貸金十円以下」にあたるから、質物を取り戻す(受^{うけもと}戻)時に、「百分の二半」つまり月利 2.5 % を、10 円にプラスして払うということだね。

コ ウ：うん。通常は、質屋と質置主との間で決めた期限内に貸金と利子が返済できないと、質入した物(質物)の所有権を失う「流^{りゅう}質」となって、質屋は流質した質物(流質物)を売^{うり}払^{はらい}できたんだね。図にするとこういう感じ(後の図)かな。

ヤ ス：親戚の家で質屋の『質物台帳』・『流質物売払帳』(後の表)を見つけたから、

⑤ 実際はどのように貸出が行われていたか確かめてみよう。

コ ウ：⑥ 民衆が経済的に苦しい時，質屋は味方になれたのか，知りたいな。

旧日本史 A

問 6 下線部㉔に関連して、次の図と表に関して、ヤスさんとコウさんに友人のオミさんが加わって交わした、後の会話について述べた文として正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 17

図

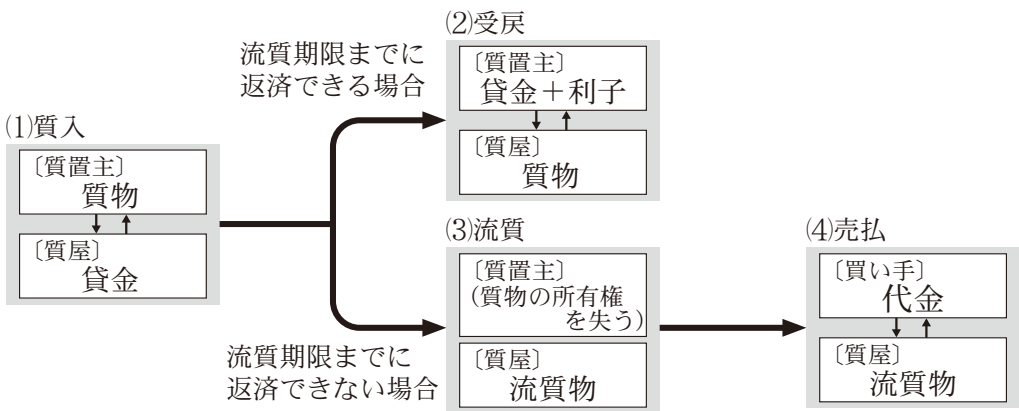


表 ヤスさんが見つけた『質物台帳』・『流質物売払帳』の内容(抜粋)

	質置主	㉑さん	㉒さん	㉓さん
(1)質入	質物	着物(普段着)	懐中時計	大豆
	貸金額	1 円 50 銭	1 円	2 円 60 銭
	質入日	1913 年 5 月 10 日	1913 年 6 月 18 日	1915 年 11 月 19 日
(2)受戻	利子の払い	なし	あり	なし
(3)流質	受戻/流質	流質	受戻	流質
	その年月日	1915 年 11 月 10 日	1913 年 11 月 9 日	年月日不詳
(4)売払	買い手	㉔さん		質屋自身
	売払額	1 円 80 銭		2 円 60 銭
	売払日	1916 年 5 月 21 日		1916 年 4 月 22 日

会話

ヤ ス：質物に身の回りの物が含まれているので、質屋が民衆にとって身近な存在であったことがうかがえるね。

コ ウ：利子を払っていない人の質物が流質してしまっているね。

オ ミ：質屋が利益を出せるように、貸金額は売払額より大きくなっているね。

- ① 3人とも正しい。
- ② ヤスさんとコウさんのみ正しい。
- ③ コウさんとオミさんのみ正しい。
- ④ ヤスさんとオミさんのみ正しい。

問 7 下線部①に関連して、近代の民衆生活と社会状況について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① 1890年代には、娯楽雑誌『キング』が創刊され、多くの人々が購読するようになった。
- ② 1910年代には、労働条件の改善を目指した工場法が制定されるなど、社会政策が実施された。
- ③ 1920年代には、農民が国策により満州に移民し、同地で農業を営んだ。
- ④ 1930年代には、関東大震災により多くの人々が家屋を失った。

旧日本史 A

第 4 問 イズミさんは、近現代の出版文化と社会との関係に着目して、探究活動を行った。活動の過程で作成した次のメモ A・B を読んで、後の問い(問 1～7)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。)(配点 22)

A

① 大正デモクラシーの時代—出版文化の隆盛—

・総合雑誌 『中央公論』(1899 年創刊) 『改造』(1919 年創刊)

② 社会主義の立場を含む多様な人々の意見を掲載。

・経済雑誌 『東洋経済新報』(1895 年創刊) ③ 石橋湛山らが活躍。

問 1 下線部②に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 19

- a 護憲三派が総選挙で勝利し、憲政会の高橋是清が首相となった。
- b 吉野作造が、政治は一般民衆の幸福を追求し、民意を尊重するべきだとする民本主義を主張した。
- c 植木枝盛らが、自主的に作成した私擬憲法を発表した。
- d 市川房枝らは、新婦人協会を組織して、婦人参政権の実現を目指した。

① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 2 下線部③に関連して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 20

- Ⅰ 治安維持法によって検挙され、獄中で転向する社会主義者が増えた。
- Ⅱ 日本共産党幹部が公職追放を受け、民間企業も共産主義者を追放した。
- Ⅲ 片山潜らが社会民主党を結成したが、直ちに解散させられた。

- ① I — II — III ② I — III — II ③ II — I — III
 ④ II — III — I ⑤ III — I — II ⑥ III — II — I

問 3 下線部㉔に関して、次の史料 1 は石橋湛山が執筆した社説である。史料 1 に
 関して述べた後の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、
 後の①～④のうちから一つ選べ。 21

史料 1 「一切を棄^すつるの覚悟」『東洋経済新報』1921 年 7 月 23 日

昨日までも、今日までも(中略)在朝在野の我が政治家に振り向きもされな
 かった軍備縮小会議が、遂に公然米国から提議された。(中略)もし政府と国民
 に、総てを棄^{すべ}て掛^かるの覚悟があるならば、会議そのものは、必ず我に有利に
 導き得るに相違ない。(中略)吾輩^{わがはい}の説に対して、あるいは空想呼ばわりをする
 人があるかも知れぬ。小欲^{とら}に囚われること深き者には、必ず左様の疑念が起る
 に相違ない。「朝鮮・台湾・満州を棄てる、支那(注)から手を引く、樺太も、
 シベリアもいらない、そんな事で、どうして日本は生きて行けるか」と。(中
 略)納得し得ぬ人々のために、吾輩は更に次号に、決して思い煩う必要なきこ
 とを、具体的に述べるであろう。

(『石橋湛山全集』)

(注) 支那：当時用いられた中国の呼称。

X 史料 1 によれば、石橋湛山は、ワシントン会議の開催に際して、日本の植
 民地を放棄するべきだと主張している。

Y 史料 1 が発表された時には、日本はシベリアに出兵していた。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
 ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

旧日本史 A

B

戦争の時代—厳しさを増す出版統制—

・社会主義だけでなく、自由主義的な思想・学問・言論に対する抑圧が強まる。

・河合栄治郎、津田左右吉らの著書が発禁処分になる。

(年表)

1937 年 7 月 日中戦争が勃発。

1940 年 3 月 南京に日本側の傀儡^{かいらい}政権である 政権樹立。

1941 年 12 月 マレー半島上陸、真珠湾攻撃。

㊤ アメリカ・イギリスに対して宣戦布告。

1945 年 6 月 沖縄での組織的抵抗が終焉^{しゅうえん}。

8 月 ラジオ放送により昭和天皇が国民に終戦を周知。

9 月 日本政府, .

問 4 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 汪兆銘 イ 降伏文書に調印
- ② ア 汪兆銘 イ ポツダム宣言を受諾
- ③ ア 蔣介石 イ 降伏文書に調印
- ④ ア 蔣介石 イ ポツダム宣言を受諾

問 5 下線部㊤に関連して、この戦争に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 政府は、この戦争の目的として、「大東亜共栄圏」の建設を主張した。
- ② この戦争が始まると、政府は挙国一致を図るために帝国議会を停止した。
- ③ ミッドウェー海戦以降、日本にとって戦局は次第に悪化していった。
- ④ 東条英機内閣は、日本の勢力下にある地域の政治指導者たちを東京に集めて、大東亜会議を開いた。

問 6 次の史料 2 は作家高見順の 1945 年 5 月 11 日の日記である。イズミさんは、史料 2 で高見が読んだ新聞記事が、後の史料 3 であることを突き止めた。史料 2・3 に関して述べた後の文 a～d について、最も適切なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

24

史料 2 高見順の日記 1945 年 5 月 11 日

新聞に次のような記事が出ている。(中略)なんともいえない口惜しさ、腹立たしさ、いら立たしさを覚えさせられた。敵に明らかに押されているのだ。敗けているのだ。なぜそれが率直に書けないのだ。なぜ、率直に書いて、国民に訴えることができないのだ。今までも、いつも、こうだった。だから、国民は、こういう気休めの、ごまかしの記事にだまされはしない。(中略)こんなことで、この苛烈な戦争が切り抜けられるだろうか。

史料 3 高見順が読んだ新聞記事

タラカン(注)攻防戦本格化

タラカンの陸上戦闘は、敵の攻撃態勢整備とともに、ようやく本格的攻防戦の様相を呈し、敵は圧倒的の兵力量をもってわが陣地内に浸透を試み、現在戦線は西海岸飛行場南側、(中略)油田地帯にかけて拡大せんとしつつあり、(中略)わが陣地に対する敵の砲爆撃は熾烈^{しれつ}を極めている。わが方は(中略)既に敵兵力の二割弱に当る千五百名を殺傷している。(中略)戦々兢々^{せんせんきょうきょう}たる敵は夜になると警戒を厳にし、虎の子の戦車の如き^{ごと}は後退せしめ、(中略)極力わが攻撃を回避せんとしているが、(中略)わが出血作戦はようやく本領を発揮せんとしている。

(『朝日新聞』1945 年 5 月 11 日)

(注) タラカン：インドネシア、ボルネオ島北東岸に位置し、石油の産地として知られる。

旧日本史 A

- a 史料 2 から、高見順は、日本の戦局が劣勢にあることを新聞記事は正確に伝えていないと批判していることが読み取れる。
- b 史料 2 から、高見順は、新聞記事に書かれているよりも日本の戦局は優勢であると認識していることが読み取れる。
- c 史料 3 は、タラカンの油田地帯付近において攻防戦が行われていると報じている。
- d 史料 3 は、タラカン攻防戦における日本軍の兵力量は、敵軍と比べて 2 割程度少ないと報じている。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 7 第二次世界大戦後の出版文化と社会について述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

25

X 敗戦後、民主化の影響を受けてプロレタリア文学運動が始まり、『種蒔く人』が創刊された。

Y 高度経済成長のなかでマスメディアが発達し、週刊誌の発行部数が増加した。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

第 5 問 次のプリント A・B は、敗戦後の政治・経済・社会の変化について調べたツバサさんが作成したものである。これらのプリントを読み、後の問い(問 1～7)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。)

(配点 22)

A 占領期から 1950 年代の政治・経済

- ・ 1945 年の秋頃から、㉔戦前の二大政党の流れをくむ日本自由党や日本進歩党，旧無産政党が結集した日本社会党などが結成され，政党の活動が復活する。
- ・ 1940 年代末頃から，㉕GHQ による占領政策の重点が経済復興へとシフト。
- ・ 1950 年代，㉖解体された財閥系各社の再編成。

問 1 下線部㉔に関連して、敗戦前の政治に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

26

- Ⅰ 一国一党的な新政党の樹立を目指す新体制運動が起こり，社会大衆党や立憲政友会，立憲民政党が解散した。
- Ⅱ 首相の暗殺事件が起こり，8 年間続いた政党内閣の時代が終わった。
- Ⅲ 台湾銀行の救済に失敗した当時の内閣が，総辞職に追い込まれた。

① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ

② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ

③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ

④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ

⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ

⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

旧日本史 A

問 2 下線部①に関連して、GHQ の占領政策について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① 日本が支払う賠償を軽減する方針に転じた。
- ② 占領の経費を賄うために 3 % の消費税を導入した。
- ③ 日本の戦争責任者に対する軍事裁判の結果を無効とした。
- ④ 税収を超える財政支出を日本政府に勧告し、経済を安定化させた。

問 3 下線部②に関連して、ツバサさんは、アメリカの日本史研究者の著作中に、財閥解体に関する次の説明文を見つけた。さらに、財閥解体後の企業集団に関する後の史料 1 も見つけた。これらに関して述べた後の文 a ～ d について、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 28

説明文(大意)

省 略

(ジョン・ダワー『増補版 敗北を抱きしめて』2004 年)

(注 1) トラスト：ここでは主として財閥のこと。

史料 1

終戦直後解体された財閥系各社は、戦前の財閥本社に代わって、金融機関と直系主要会社を中心に再編成が進められ、同系会社内の相互持株比率は戦前の水準に近づいてきたほか、持株会社(注2)の株式投資比率が戦前の七割に回復、特に株式取得による新たな系列化が進んで、関係会社数は戦前の二割増に達するなど、新たな形でトラスト化(注3)が進められている。

(『読売新聞』1958年2月5日)

(注2) 持株会社：ここでは、敗戦後に他の会社の株式を所有し、企業集団を形成した銀行、会社のこと。

(注3) トラスト化：ここでは企業集団による系列化のこと。

- a 説明文によれば、日米開戦前にアメリカ側との関係が深かった財閥の経営者たちは、その経験から財閥解体などの占領政策を予期していた。
- b 説明文によれば、財閥解体を進めた GHQ の政策は、世界恐慌期におけるアメリカ国内の経済政策に強い影響を受けていた。
- c 史料 1 によれば、戦前の財閥本社が系列会社の株式を再び買い集めることで、独占的な企業集団として復活した。
- d 史料 1 によれば、金融機関などが中心となって新たな企業集団が形成され、その集団内部では株式の持ち合いが進んだ。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

旧日本史A

B 1950年代の政治・社会

- ・1951年9月、サンフランシスコ平和条約と日米安全保障条約の締結。
- ・講和への対応をめぐり、日本社会党は左派と右派に分裂した。分裂後、安全保障政策では、左派は非武装中立を主張し、右派は日米安保条約を支持した。
- ・1954年に結成された日本民主党は憲法改正と **ア** を主張した。
- ・1955年10月、㉠ 日本社会党が統一された。同年11月、自由党と日本民主党が合流し、自由民主党が結成され、初代総裁には **イ** が就任した。
- ・1950年代中頃から、㉡ 日本各地で市民による平和運動が展開 される。

問4 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **29**

- | | |
|-------------|--------|
| ① ア 再軍備 | イ 岸信介 |
| ② ア 再軍備 | イ 鳩山一郎 |
| ③ ア 警察予備隊設置 | イ 岸信介 |
| ④ ア 警察予備隊設置 | イ 鳩山一郎 |

問5 下線部㉠に関連して、次の史料2・3に関して述べた後の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

30

史料2 統一前の日本社会党議員が発表した論考の一部(大意)

省 略

(『実業之日本』1951年9月)

史料 3 統一した日本社会党の政策大綱の一部

関係諸国なかんずく中ソとの間に、個別的不可侵の取極め^{とりき}に努めつつ日米中ソを主要参加国とする集団的不可侵及び安全保障条約を結ぶ。日米安全保障条約(中略)は、両陣営の加わった集団安全保障条約との見合^{みあ}(注)において解消する。(中略)いずれの陣営にも属しないアジア諸国との提携を強化し、すべての国との友好関係を増進する。

(『日本社会党綱領・運動方針・政策大綱』1955 年 10 月)

(注) 見合：つり合い，対応。

X 史料 2 は，日本社会党の左派の主張である。

Y 史料 3 は，アメリカをはじめとする資本主義陣営側の諸国との結束を強化する方針を示している。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 6 下線部㉔に関連して，1950 年代の平和運動について述べた文として誤っているものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 31

① ベ平連(ベトナムに平和を！市民連合)による反戦運動が展開された。

② 米軍が土地の収用を強行したことを契機として，沖縄で島ぐるみの基地反対運動が起こった。

③ 広島で第 1 回原水爆禁止世界大会が開催された。

④ 在日米軍基地に反対する運動が起こり，内灘事件や砂川事件が発生した。

旧日本史 A

問 7 ツバサさんはプリント A・B を基に調べたことをまとめた。敗戦後の政治・経済・社会に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

- a 経済の民主化のため、財閥の解体や巨大独占企業の分割が実施されたが、占領政策の変化で徹底されなかった。
- b 傾斜生産方式により、繊維産業などの軽工業に資金が集中したため、重化学工業の発展は遅れた。
- c 社会秩序を維持するため、GHQ は天皇制への批判を禁止した。
- d 独立回復後に日本民主党をはじめとした保守陣営が目指した憲法改正は、3 分の 1 以上の議席を持つ革新勢力により阻止された。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d